

長期事業計画を着実に実施

理事会、21年度上期事業報告を承認

財団法人交通遺児育英会の上期事業報告と収支決算報告が、昨年11月26日に開かれた平成21年度第5回臨時理事会で承認された。

今年度の上期は、第2次長期事業計画に沿って事業を着実に実施した。

●事業報告

1、奨学生の採用
高校から大学院までの上期新規採用者は、高校で減、大学、専修学校で増となり、前年比5人減の474人。2年以上の継続採用者は58人減。そのため、貸与者総数は63人の大幅減少となり、奨学金貸与総額も前年比1277万円の減少となった。

一方、入学一時金の利用者は昨年とほぼ同じ252人。入学一時金貸与額は、大学の利用者が増えたため、昨年比700万円増となった。

この結果、奨学金および入学一時金の貸与総額は5億5730万円だった。

2、奨学金の返還
奨学金と入学一時金を合わせた回収額は4億4724万円、返還率84・8%。重点課題である返還システムの円滑な運営については、一昨年10月から運用開始した「コンビニからの振込返還」は順調に稼働し、わずかに1年間で振り込み返還のメインとなった。

滞納者への督促強化は、長期滞納者への電話や戸別訪問などで解消を図っている。なかでも今年度の戸別訪問重点地区とした大阪府、北海道、広島県では63件が解消した。今後も住所調査と併せて滞納解消を図っていく。

3、奨学生に対する補導
「高校奨学生と保護者のつどい」は、8月1・3日、北海道・東北・関東地区を対象に、千葉市のホテル・東京ベイ幕張と東京デイスニーランドで開き、30

家族76人が参加した。「高校奨学生と保護者の相談会」は、今年度も5府県で予定している。上期は大分県、広島県で開き、参加率は各40%、21%だった。参加者を増やすため、今年度から開催地の近県にも参加を呼びかけた。

6年目を迎えた海外語学研修は、イギリス25人、カナダ2人の計27人を派遣。オーストラリアへの希望者はいなかった。現地でのホームステイ、同年代の若者との交流などの貴重な体験を積み重ねることで派遣の目的を達成することができた。

4、学生寮の維持経営
東京寮では、雇用環境の著しい悪化を踏まえ、就職活動の支援策として面接講座を実施。また、日ごろ疎遠な関西学生寮の塾生に対しては、関西でミーティングおよび面接を2回行い、指導強化に当たった。

5、募金

上期の寄付金収入は、9000万円。寄付手段の多様化に向け、インターネット募金、ポイントカードによる寄付などを実施した。また、過去の大口寄付者への復活折衝、募金箱の配布拡大などを継続的に進めている。

6、第2次長期事業計画の推進状況
公益法人制度改革への対応は、移行プロジェクトチームを編成し、平成22年度8月以降、年度中の移行を目標に、定款の変更案の作成、財務関係の諸基準との照合、諸規程案の整備などの検討を重ねている。

旧運輸省からの自動車事故対策補助金の返納は、昨年10月23日に1億1000万円を返還した。

知名度向上策としては、本会設立40周年を記念して、機関紙連載中の「お母さん、ごめん、お母さん、ごめん」から抜粋して単行本とした。

本とした。この本は全国紙、地方紙十数社に取り上げられ、大いなる反響があった。また、『40年史』に向けての史料編纂、ホームページ刷新によるアクセス数の増加、専務理事へのテレビジネス取材などが目立った動きであった。

●収支決算報告
事業活動収支差額は、1億6800万円の赤字となり、前年同期比では、財産運用収入の減少などにより、8000万円悪化した。

投資活動収支差額は、前記の赤字に加え、国庫補助金の返還財源のため、奨学金事業資金積立基金から3億円取り崩し、3億1000万円の赤字となり、財務活動収支差額は、国庫補助金の返還が10月にずれただめ、ゼロであった。

以上により、上半期の収支差額は、1億3300万円の黒字となった。

募金箱設置先紹介のお願い

「30数年前に主人を交通事故で亡くし二人の子が貴会のお世話になり無事社会人となりました。私も定年退職後幸せに暮らしております。今までお世話になったお礼に心ばかりの寄付をします」(70代女性)

「あしながおじさん募集チラシ」50枚と「さっちゃん」募金箱

「募金箱設置のお願い」2枚を配りたいので送ってください」(女性・大塚9期生)

本会は、しばしばこのように温かいお手紙を頂戴しています。

本会の総収入へ寄付金を元設立され、資産形成してきたことを考えれば、これからの社会のさまざまな方々から、ご理解とご支援先を紹介してください。

用収入と寄付金収入です。したがって、先輩からの返還金が後輩たちへの奨学金の柱となっています。

しかし、本会が40年前に多くの方々の善意の寄付金を元に設立され、資産形成してきたことを考えれば、これからの社会のさまざまな方々から、ご理解とご支援先を紹介してください。

援をいただくことが極めて重要で、

2種類の募金箱
そこで小紙の読者であるご寄付者の方々、奨学生とご家族、元奨学生の皆さまにお願ひがあります。

本会の募金箱「さっちゃん」(高さ約37センチ)の設置先を紹介してください。

本会の名前がその方々の頭の片隅にも記憶されれば、将来何かの機会に思い出されて、ご寄付に結び

付くことが考えられます。

この募金箱は、自動車学校や交通安全協会、運送会社などに数多く設置されていますが、皆さまの職場や行きつけのお店に置いていただければと思います。

ちなみに、女性寄付者の方が、行きつけの美容院に折衝され、設置が実現したケースがあります。

またほかに、イベント会場用の段ボール製組み立て型の募金箱(高さ約30センチ)もあります。チャリティーイベントやパーティーなどで活用していただけます。

紹介していただける際は、フリーダイヤル 0120-521285 までご一報ください。



イベント用募金箱



「さっちゃん」募金箱

真の優しさ 心理関係の職に

広島県 前田 明子

私は、職業選択こそが人生最大の岐路だと考えている。悩みに悩んでやっと決まった私の将来の目標は、心理関係の職業に就くことだ。

現在、日本では病んでいる人が増加している。私は、できるだけ多くのそういった人々を支えたいと思っている。少しでも多くの人に笑顔で、毎日を楽しく生きてもらいたいという願いと、社会に貢献したいという気持ちからだ。

人の支えになるために必要なものは、優しさや真心はもちろん、何よりも厳しさだと思ふ。例えば人の支えになろうというまにそのとき、どの程度まで手を差し伸べていいのか、干渉することが本当にその人のためになるのかを考えなければ、優しさもその人が成長する機会を奪ってしまうことにもなりかねない。また、優しさの押し売りのよ

うになっていないか、と内観し、戒めることも自分への厳しさとも言える。しかし、厳しさを持つことばかり、厳しさをどこまでも制限していくか、が一番難しいことだろう。状況や時間によってその範囲は変化する。それを自分ひとりでの最善の判断を下さなければならぬのだ。

だから私は、そのときに備えてさまざまな知識や的確な判断力、厳しさを兼ね備えている夢を確かなものにしていく。

予習復習の大切さというものがよく分かりました。とりわけ私は、数学に興味を持ちました。難しいとめをつけなければ、より充実した生活が送れないということを実感しました。

高校生活を充実したものとし、これからは大学受験突破を目標に勉強に励みたいと思っています。

父には小さい頃から面倒を見てもらっているの、世話になった分、父の支えになり、喜ばせてあげたいと思っています。

父のためにも 介護の仕事も

千葉県 此川 麗

私の家族は4人家族です。父は経理の仕事をしていて、ほぼ毎日朝早くから

私には音楽に携わることでも、美術に携わることでも好きだ。しかし現実はその甘くない。学生最後の年、3年生を目前に控え、選んだのは就職という道だった。

夢を追うどころか、現実と向き合わなければならなくなつたのだ。親の敷いたレール。半強制的に決まった就職という進路。少なくとも此道下にあるうちは、それもいたし方ないと思ふ。だからといって、私はあきらめたわけではない。

就職。絶対的に避けられない将来。私のクラスの大

◆高校生の声◆

高校で感じたことと思うこと

群馬県 狩野 凌佑

私は、高校に入ってから一番に感じたことは、授業の進む速さでした。ちょっと聞いていないだけで、重点を見逃してしまふことがよくあります。そのため、



「生んでくれてありがとう。育ててくれてありがとう。育つてくれていることしかできなかったからです。福祉の仕事に就けば、少しは介護やリハビリを手伝うことが

いつか母へ感謝の気持ち素直に

大府 生田 瑛矢

僕は母に、心の中では本当に感謝の気持ちがあるのに、素直に口で表すことができません。友達や周りの人にはいつもちゃんとお礼が言えるのに、母に対しては素直になれないと自覚しています。毎日毎日、ささいなことでもケンカし、お互いに口を利かないこともしょっちゅうです。

が、「事故に遭ってごめんね」と僕に謝り、「二人に迷惑かけてごめんね」とずっと言っていました。そのとき初めて母の弱いところを見ました。僕も姉も迷惑だなんて思っています。むしろ母には感謝の気持ちでいっぱいなんです。しかし、そんなときでも僕はそれを伝えることができません。むしろ、今思うと本当に情けないと思います。

が、事故に遭ってごめんね」と僕に謝り、「二人に迷惑かけてごめんね」とずっと言っていました。そのとき初めて母の弱いところを見ました。僕も姉も迷惑だなんて思っています。むしろ母には感謝の気持ちでいっぱいなんです。しかし、そんなときでも僕はそれを伝えることができません。むしろ、今思うと本当に情けないと思います。

が、事故に遭ってごめんね」と僕に謝り、「二人に迷惑かけてごめんね」とずっと言っていました。そのとき初めて母の弱いところを見ました。僕も姉も迷惑だなんて思っています。むしろ母には感謝の気持ちでいっぱいなんです。しかし、そんなときでも僕はそれを伝えることができません。むしろ、今思うと本当に情けないと思います。

野心を抱き、人の下で働く。いつか私は、進学した子よりも有名になって、そして、それまで上司と聞いてつらかったのに、私は我慢した人物に向かって言いたい。「私は芸術家だ」と、辞表を突きつけて。

しかし、家で二人のときに母が泣いたことがあります。原因は分かりませんが、

が、「事故に遭ってごめんね」と僕に謝り、「二人に迷惑かけてごめんね」とずっと言っていました。そのとき初めて母の弱いところを見ました。僕も姉も迷惑だなんて思っています。むしろ母には感謝の気持ちでいっぱいなんです。しかし、そんなときでも僕はそれを伝えることができません。むしろ、今思うと本当に情けないと思います。

が、「事故に遭ってごめんね」と僕に謝り、「二人に迷惑かけてごめんね」とずっと言っていました。そのとき初めて母の弱いところを見ました。僕も姉も迷惑だなんて思っています。むしろ母には感謝の気持ちでいっぱいなんです。しかし、そんなときでも僕はそれを伝えることができません。むしろ、今思うと本当に情けないと思います。

が、「事故に遭ってごめんね」と僕に謝り、「二人に迷惑かけてごめんね」とずっと言っていました。そのとき初めて母の弱いところを見ました。僕も姉も迷惑だなんて思っています。むしろ母には感謝の気持ちでいっぱいなんです。しかし、そんなときでも僕はそれを伝えることができません。むしろ、今思うと本当に情けないと思います。

野心を抱き、人の下で働く。いつか私は、進学した子よりも有名になって、そして、それまで上司と聞いてつらかったのに、私は我慢した人物に向かって言いたい。「私は芸術家だ」と、辞表を突きつけて。